

zoom 面接授業（スクーリング）の受講について

— 重 要 —

zoom 面接授業（スクーリング）受講にあたっての注意点を下記にまとめました。授業中のトラブル発生による受講未完了を防止するため、授業前によく読んでおいてください。

【受講の準備】

- PC を用意する（マイクやカメラが無い PC の場合は、マイク・カメラをご用意ください。）
※ PC を推奨しますが、やむなくタブレットを使用する場合は電池容量の大きいものを用意するなど、充電しながらの長時間使用による発熱による故障などにご注意ください。
- 通信環境を整備する。（通信量の増加による通信速度制限がない通信量無制限のインターネット回線など）

【受講の際のルール】

- ① 欠席・遅刻・早退は厳禁です。
今年度は、zoom クラスの受講者数が定員に達しており、他の zoom クラスへの振替はできない可能性が高いため、万全な体調管理、スケジュール管理等をお願いします。
- ② 授業開始 15 分前を目途に入室をお願いします。
- ③ Zoom 入室後、速やかに自分の表示名を、学籍番号（下 4 桁）・お名前（フルネーム）に変更して下さい。例：1234 学院桜子
- ④ 授業中の飲食は基本的にはご遠慮下さい。
- ⑤ なるべく静かな環境（生活音やペットの声など聞こえない環境）をご準備下さい。
- ⑥ 本人確認及び出欠確認のため、入室後は必ず常にビデオ機能をオンにし、顔が見えるようにカメラの位置をご調整下さい。
- ⑦ なるべくイヤホン（可能であればマイク付きイヤホン）のご使用をお願い致します。
- ⑧ 授業中に誤操作等で退出してしまった場合、速やかに再度ログインしてご入室下さい。
- ⑨ 面接授業の内容の撮影・録画・録音は一切禁止します。
- ⑩ 接続できないなどの受講に関する緊急時は、中央福祉学院までご連絡下さい。

* 原則として E メールで、以下の要領でご連絡ください。

○宛先:gakuin-shafukushi@shakyo.or.jp

○件名:「**コース名**」「**担当講師名**」「**学籍番号**」「**ご氏名**」(例:zoomC 田中講師 22F2-0555 山口)

○本文:(ご用件をご記入ください)

※ 宛先が異なっていたり情報が不足していると確認が遅れたり、再度不足分の情報をお尋ねするなどして、返事ができない、あるいは非常に時間がかかる場合があります

2022 年 4 月 28 日

ますのでご注意ください。

メールが使用できない場合は、緊急連絡用電話(070-5572-3716)にご連絡ください。非常に混雑することが見込まれるため、やむを得ない場合のみとしてください。

【受講の際の心得】

- ① 授業前には、必ずテキストを参考に、事前学習課題の回答と、不正解となる選択肢の間違った部分の確認をするようにしてください。事前学習課題は、授業でも使用します。
- ② 授業の内容（学習の手引 P. 38）ごとに、各自が学習目標（自分が特に学習したい内容含む）を言えるようにしておいてください。
- ③ グループでの話し合いなどの際は、積極的に発言いただくとともに、他人の意見を聞く姿勢も大切にしてください。
- ④ わからないことやレポートの書き方など、積極的に先生方に質問をしてください。
- ⑤ 面接授業（スクーリング）は多職種・多業種・同職種多地域交流の貴重な機会です。授業終了後の「交流タイム」*を積極的に活用してください。

***「交流タイム」**は、受講者同士の交流を進める機会として、自由参加の時間として設定します。一日の授業終了後 30 分間、そのまま Zoom ミーティングで実施します。

第 1 回スクーリングでは、前半 15 分間はブレイクアウトルームによる 5～6 人のグループ交流、後半 15 分はクラス全体での交流する時間として設定する予定です。

交流タイムをどのように使うかは受講者の皆様にお任せします。学習内容についての相談・交流でもいいですし、お仕事についての交流等でもかまいません。また、zoom の設定方法（少人数グループ・クラス全体、グループ人数の設定 等）もご要望にお応えし変更することは可能です。

＜交流タイムの話題の例＞

- ・自己紹介
- ・最近の感動話
- ・レポート作成等勉強方法の交流
- ・国試受験勉強方法の交流
- ・近況報告 など

スクーリングで出会った仲間と連絡を取り合うことで勉強を続けられた、面接授業終了後の「孤独な受験勉強」がつらかった、という先輩受講生の声があります。スクーリングの機会に親しくなり、受講生同士の交流が行われることを期待しています。過去の先輩受講生の場合では、毎月 30 分程度短時間で参加したい人が参加できる、受験勉強のための「しゃべり場」を開いたり、LINE グループを設定して日頃の勉強方法や学習内容の情報交換を行うなどの例があります。

仲間と一緒に受験勉強を乗り越えるために、スクーリング期間中にお互いの連絡先を交換し、集まる頻度や調整担当者を決めておくことをおすすめしています。